

ことしの
施政方針

『三大課題』に今後も努力

市制施行20周年、"心構え、新たに

五十四年度の市政の方向を決める市議会定例会が、三月十二日開会され、小笠原市長は提案理由の説明に先立ち、五十四年度の施政方針演説を行って議会の理解と協力を呼びかけました。

はじめに

私たちがとりまく状況は、引き続き低成長と不況のなかで、きびしさを実感としてうけとめざるを得ません。昨年の造船業の不況がおちつく間もなく、代表的な地元産業である農機具製造業界が大きな痛手をこうむり、従業員やその家族に重大な影響を与えていることはご承知のとおりですが、最も安定していると思われていた農業自由化の波におされていく状態です。私たちの日常生活が、いまや世界の多くの国々の政治的経済的事情に深い関連をもっていることを認めざるを得ません。本市の行政実態をみると市民のご要望を満足させようとしても、種々の困難と矛盾をもっているため難しいことも多くあります。就任以来、私の使命ともいえるべき努力目標は、ご承知のとおり、財政、空港、同和の三大課題にとり組むことでしたが、同時に時代とともに進むべき市政の方向をさ

ぐり、市民のご要望にできるだけおこたえするようつとめてまいりたい。三大目標は一朝一夕に目標をつけるにはあまりに大きく、道なお選しの感をいだきながらも努力していくつもりです。先任者以来、宿題となっていた案件の中では、東洋電化の公害問題、北部協業みかん園の制度融資整理の問題、農事放送農業協同組合の解散と制度融資整理の問題については一応の解決をみています。関係者や議員のみなさんの一方ならぬご尽力に対し厚くお礼を申しあげますとともに、未解決のまま残されたいくつかの案件についても各位のご指導とご協力をお願いして円満に解決させていただきたいと思っております。なお、五十四年度は市制施行二十周年にあたりますので、この機会に従来の行政に欠けたところをおきながらだけでなく、時代の進展に順応して可能な限り市民各位のご要望にこたえるべく心構えをあらたにしなければならぬと考えています。

なお、きびしさが続く

財政

従来どおり、経常経費の削減、合理化の方針を堅持し、財政再建審議会の答申の趣旨にそって執行にあたりたいと思っております。市民、議会、職員の協力をいただいて再建計画の当初目標四年が

「市民の利益」第一に……

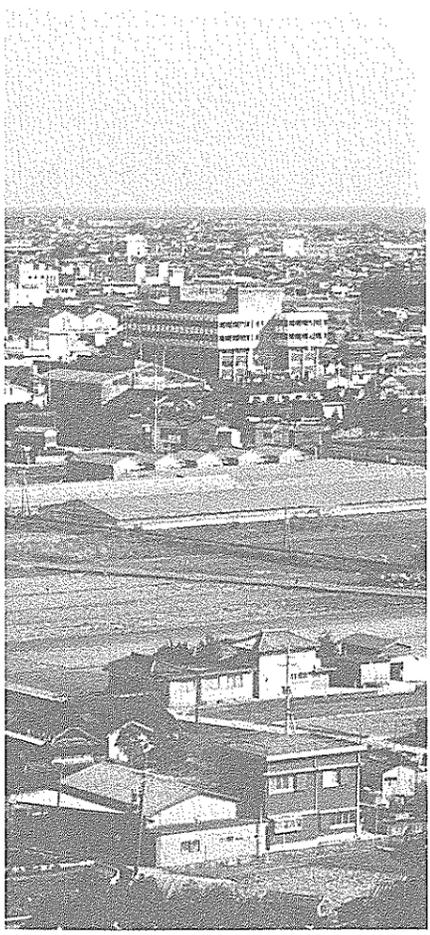
空港

空港問題は、多年にわたり種々の経過を経てきた本市の大きな懸案の一つであり、国が計上した九十億円の予算は空港用地の買取補償業務に向けられ比較的順調に進み、年度内に予算の消化がほぼ達成される見込みがあるとの連絡をうけています。

延長で見直しと努力

同和

次に同和对策ですが、市政の各般にわたり多くの問題を包蔵してありますので、他の行政に比べて一段と深い配慮と努力が必要だと思っております。幸い、同和对策特別措置法が三年間延長されましたので、さらに過去の業績を洗い直し、



財政再建をすすめて

要望の達成へ……

環境整備・福祉・産業経済・教育

生活の安定と社会福祉の増進は、行政の基本的な目標であり、最大の念願でもあります。五十四年度の予算内容はもとより満足すべきものではありませんが、財政の充実、健全化が進むにつれて充実した福祉行政への移行につとめたいと思います。老人、身障者の機能回復訓練、父子家庭へのヘルパー派遣などの他に、今年が国際児童年にあたることから幼児教育の充実をはかるとともに、国がおこなう行事へも積極的に参加することを心掛けて

し尿処理問題は、高知中央広域衛生事務組合の解散にともない、南国市独自の施設の建設について調査検討し、本年中に永久施設の目途をつけたと思っています。次に建設事業ですが、本市には特にいくつかの大型公共事業がすでに発注し、あるいは企画されています。下田川の防潮対策は、すでに一部着工され、用地買収も順調に進んでいます。懸案の後川改修工事も着工見込

みで、国分川、明見川も地道ながら改修が進んでいます。海岸地帯では、離岸堤の建設が継続されています。道路では高知東道路（介良領石線）が着工にむけて進まれています。土佐山田町、南国市、高知市をつなぐ浦戸湾東部流域下水道事業は五十四年度には調査費が計上されています。

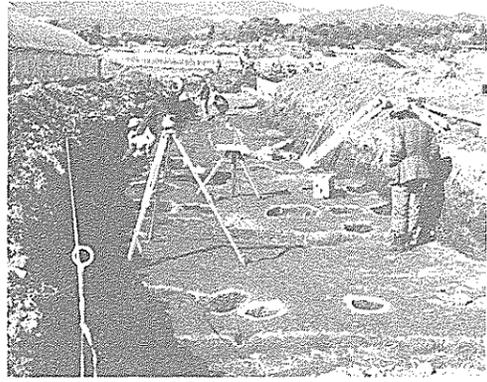
大豊、南国間の四国横断高速道路については現地設計協議が行われていますが、特に本市の大きな課題である領石インターチェンジについては現計画について地元からの難色の声もあり、地域開発、公害対策についてなお一層の検討が必要と段階です。赤岡春野線いわゆる黒潮ラインもいよいよ着工される予定です。

産業経済については、米の過剰問題を解消しようとする水田利用再編対策が継続されますが、転作に付随する野菜の価格変動など農業経営の困難性を克服するために県の技術陣の指導をおおき、地域の特性を生かした総合食糧基地にふさわしい環境整備、作物選択などを農業団体と一体となって努力したいと思っております。中小企業をとりまく環境は、鈴江農機の更生法申請、セイレイ工業の不振によりピンチにおちいた下請企業など格別にきびしいものがありますが、これらの対策は急を要する深刻な課題なので、国県の施策に呼応して十分な措置により危機脱出のための援助を考えたいと思っております。

最後に教育問題です。次代を担う市民のために保育所、幼稚園、小学校、中学校について地方自治体の責務は重大なものがありません。近年の財政難により施設の管理、改築が遅れていたことは誠に残念ですが、事の重大性を考えて過去後免野田小、大篠小、香南中の改修にとりかかりました。残念ながら五十四年度当初予算

に新規予算を計上できませんでしたが、財源の確保につとめ施設の充実をはかりたいと思っております。スポーツ施設では、葦ヶ池中学校跡地を社会教育施設として解放することができました。学校教育では、屋内体育館の建設につとめます。物部川の河川敷の利用や北部運動公園の予定地に運動場をつくる計画ももっています。県住宅供給公社所有の明見に計画されているスポーツ教育施設が完成すれば本市も利用できることになっていきます。バランスのとれた田園都市であると同時に文化都市でもありたいのは共通のねがいだと思っております。市制二十周年を記念してかねてから待望されていた「市民図書館」を発足させる予定です。最近行われている文化財の発掘、比江国跡跡の発掘、保存等は本市だけに恵まれた文化の遺産として社会教育上にも大きな意義がありますので、今後の取り扱い方について、県と協議中です。よろしく御審議をいただきますようお願い申し上げます。

第一四一回市議会定例会の議決結果(五十四年度当初予算、新しい条例)など、くわしいことは次号(四月十五日号)に掲載します。



「土佐」役所跡を確認 比江の国衙跡で発掘調査

「土佐国衙」は現在の比江にあるもので、この地は奥指定の史跡。この発掘は、市道拡張に伴い緊急に、市教育委員会が県教育委員会の協力や岡本健児高知女子大教授らの指導によって実施したもの。幅四、長さ五十メートルの範囲を約一メートル掘り下げて行われた調査では、①中世名主層の邸跡の発見、②国衙関係の柱穴の発見、③等間隔で並ぶ大きな柱穴十六基を発見。これら柱穴から、平安中期（十一、十二世紀）と平安後期（十三世紀）の二期の建造物が推定でき、双方とも発掘区域が狭いため開口は不明ですが、前期分が奥行き三間（約五・四メートル）、後期分が奥行き二間（約三・六メートル）の建物

に、運動場の必要なことはよくわかっていてつくりたいので今後の行政課題としてよく認識しておきます。位置の変更は基本的には考えていません。私有地と隣りあわせの土地なので、その方にご迷惑にならないよう努めなければなりません。ここではつくり図示はできません。最後に、前回同様合総代さんが

とわかりました。また、これらの時代判定資料として、柱穴などから約二百点の須恵器、土器類が出ました。なお、平安後期の建物は、土器溜から食用用セット品が多量に出土したことから、国衙の「厨（台所）」の一部と推定されること。以上のことが主な成果ですが、これからのこと岡本教授からは次のような発掘調査のまとめを発表。今回発見された柱穴は、大きな、並び方、出土土器による時代から国衙関係のものとして正式に発掘したもの本県で最初。また、国衙における初期、いわゆる奈良、平安初期（律令体制盛時）の遺物がみられないことにより、今回発見された国衙は律令体制の弱体化以後の国衙に関連したものでないだろうか。比江には国衙関係の「国庁」「府中」などの小字が現在も残ってい

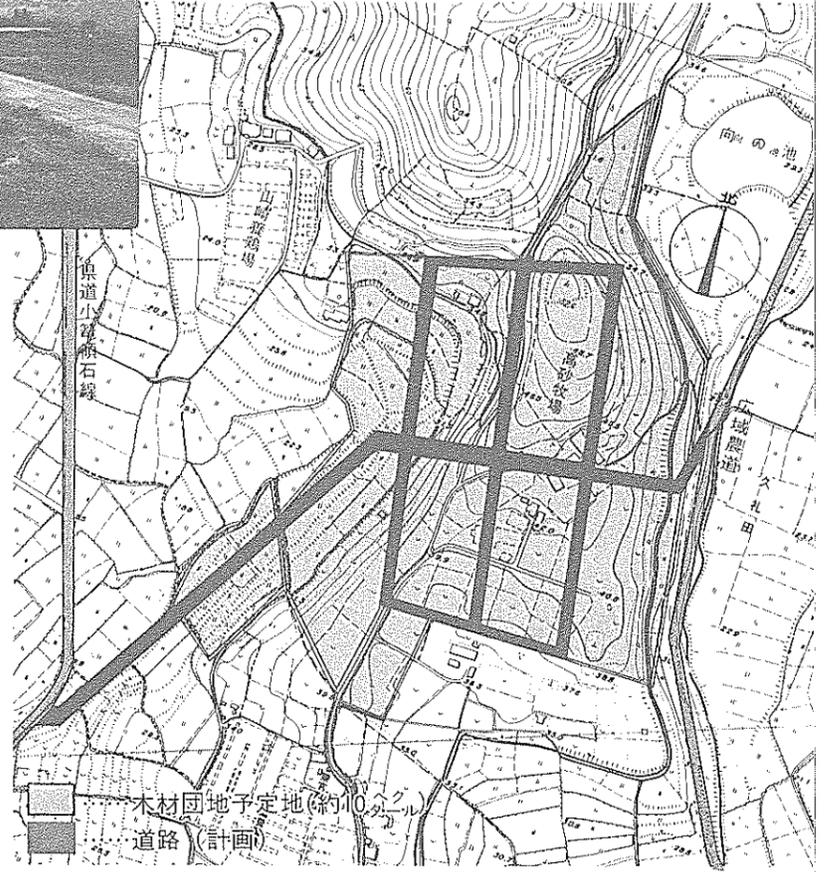
ました。「木材団地」は、製材業十三社、家具等本製品製造業七社の計二十社（全部県内企業）で構成し、将来土佐実生生産の発祥地をめざす販売は、共設の物流センターに展示し県内外の消費者に直接行う。十ののうち、道路、公園、調整池、土羽、擁壁、排水路などで約一、残りが工場などとなる予定です。これに対する地元の見解は、木材団地計画は市がタッチしているのでしょうか。私たちは、運動場がまず実現され、次に木材団地の検討がされるべきではないかと思うが、市の相談は逆ではないでしょうか。木材団地の位置の変更を検討してください。運動場がたった一つとはあきれるばかりだ。そしてその場所もは

つきり図示できないとはどういうことでしょうか。これに対する市の回答は、計画は県の多くの窓口で検討されたものであり信頼していないので直接市はタッチしていない。財政の破たんは市政の致命傷なので、どうしても財政の健全化をはからなければならぬと思う。重ねてみなさんのご期待に添えなかつたことをお詫びするとともに

「土佐国衙跡発掘調査」は、二月十三日から三月一日まで、比江神ノ木（紀貫之邸跡の南約四百メートル）で行われました。この発掘は、市道拡張に伴い緊急に、市教育委員会が県教育委員会の協力や岡本健児高知女子大教授らの指導によって実施したもの。幅四、長さ五十メートルの範囲を約一メートル掘り下げて行われた調査では、①中世名主層の邸跡の発見、②国衙関係の柱穴の発見、③等間隔で並ぶ大きな柱穴十六基を発見。これら柱穴から、平安中期（十一、十二世紀）と平安後期（十三世紀）の二期の建造物が推定でき、双方とも発掘区域が狭いため開口は不明ですが、前期分が奥行き三間（約五・四メートル）、後期分が奥行き二間（約三・六メートル）の建物

「土佐の国衙」は、また小部分の発掘で危険であるが、盛時の国衙と衰退期の国衙の位置が異なるのではないだろうか。今回の発掘調査は、国衙関係のものとして、五十四年一月、五十四年一月（いずれも県教委による）に統一して三回目の調査。市教育委員会では「今回の調査で、この地が土佐の国の「役所跡である」ことが確認されました。来年度（五十四年四月）から、県が国の補助を得て、「国庁」周辺を本格的に確認調査する予定です」と話していました。

《北部運動公園》



「木材団地」実現へ協力要請

第2回 説明会
納得できるあらゆるデータを
一月七日の第一回目に続いて三月三日夜、北部運動公園予定地」についての「木材団地」の実現に対する地元の理解と協力を求めました。

「買収している十八ののうち、①木材団地へ十の売却、②広域農道へ一の売却（済）、③点在している市有地、④木材団地造成の残土処理場五、が一必要で処理後四の平地地が残ります。このうちとりあえず地元の都合のよい場所へ一の運動場を確保したい。あとの利用については、私有地が隣接しているため、今後地元と協議して計画していきたい。これに対して地元からは、運動公園用地の処分よりも他に売却できる土地があればいいか、その努力が消極的ではないか。公有地処分審議会や財政再建審議会、スポーツ振興審議会などの答申は出ているのですか。など、基本的な質問もあり、市長は「売れる財産はいい相手があればすぐに売りたい。関係の会にはかり、地元の意向を反映しながら作業を進めることは、財政難の今はやむを得ない」と了承でこの作業をしている。ことを説明し

「木材団地」とはどのようなものか、という説明がありました。続いて、「木材団地」は、市三者で協議し「地元へは公害での迷惑はかけない」とを第一に考えているのでよろしくご理解をいただきたい。続けて、「木材団地」とはどのようなものか、という説明がありました。

「買収している十八ののうち、①木材団地へ十の売却、②広域農道へ一の売却（済）、③点在している市有地、④木材団地造成の残土処理場五、が一必要で処理後四の平地地が残ります。このうちとりあえず地元の都合のよい場所へ一の運動場を確保したい。あとの利用については、私有地が隣接しているため、今後地元と協議して計画していきたい。これに対して地元からは、運動公園用地の処分よりも他に売却できる土地があればいいか、その努力が消極的ではないか。公有地処分審議会や財政再建審議会、スポーツ振興審議会などの答申は出ているのですか。など、基本的な質問もあり、市長は「売れる財産はいい相手があればすぐに売りたい。関係の会にはかり、地元の意向を反映しながら作業を進めることは、財政難の今はやむを得ない」と了承でこの作業をしている。ことを説明し

「木材団地」とはどのようなものか、という説明がありました。続いて、「木材団地」は、市三者で協議し「地元へは公害での迷惑はかけない」とを第一に考えているのでよろしくご理解をいただきたい。続けて、「木材団地」とはどのようなものか、という説明がありました。